

特別プログラム

※本号（ ）内のページ数を掲載しております。

プログラム／抄録

代議員総会・会員総会・評議員会	P.25	－
第16回日本エイズ学会学会賞 (シミック賞) 受賞講演	P.25	－
プレナリーレクチャー	P.26	P.95
会長講演	P.27	P.98
特別シンポジウム／Special Symposium	P.28	P.99
日本エイズ学会シンポジウム	P.29	P.104
特別企画	P.30	P.109
市民公開講座	P.31	P.116
シンポジウム「治療の手引き」	P.32	P.117
シンポジウム	P.33	P.118
JSPS Core-to-Core Symposium／ 日本学術振興会研究拠点形成事業シンポジウム	P.39	P.176
ポジティブトークセッション	P.39	P.181
メモリアルサービス	P.40	P.182
日本エイズ学会認定講習会	P.40	P.183
HIV 感染症指導看護師向けアドバンスト研修	P.40	P.184
HIV 感染症薬物療法認定・専門薬剤師認定講習会	P.41	P.185
Scientific Engagement Satellite Symposia	P.41	P.186
共催シンポジウム	P.42	P.187
ランチョンセミナー	P.45	P.192
20th Kumamoto AIDS Seminar 2019	－	P.202

代議員総会・会員総会・評議員会

- 日時：11月28日（木）8：30～9：30
- 会場：第1会場（熊本城ホール2F シビックホール）
- 議長：学術集会・総会会長

※代議員総会・会員総会・評議員会およびシミック賞・ECC奨励賞の授賞式ならびにECC奨励賞受賞者からのお言葉をいただきます。

※参加者は学会員に限ります。

第16回日本エイズ学会学会賞（シミック賞）受賞講演

- 日時：11月28日（木）9：30～9：50
- 会場：第1会場（熊本城ホール2F シビックホール）
- 座長：松下修三（熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター）

プレナリーレクチャー

■Date/Time : Wed. Nov. 27/9 : 00 ~ 10 : 30

■Room : Hall 1 (2F Civic Hall)

Plenary Lecture 1 (基 B・臨 C)

HIV persistence and
cure (HIV の持続感染と治癒
に向けた治療法開発)

Chairs

Shuzo Matsushita (Kumamoto University)
Takamasa Ueno (Kumamoto University)

■Speakers

PL1-1 **Role of Clonal Expansion of HIV-infected cells in Viral Persistence and Pathogenesis During Long Term Antiretroviral Therapy**

Frank Maldarelli

Clinical Retrovirology Section HIV Dynamics and Replication Program, NCI Frederick, USA

PL1-2 **Multidimensional profiling of HIV-1 reservoir cells**

Mathias Lichterfeld

Infectious Disease Division, Brigham and Women's Hospital, Harvard Medical School, USA

共催：熊本大学レトロウイルス学共同研究センター

■Date/Time : Thu. Nov. 28/10 : 15 ~ 10 : 50

■Room : Hall 1 (2F Civic Hall)

Plenary Lecture 2 (基 B・臨 C)

Preventive vaccine is
coming soon in era of
combination of
prevention

Chair

Tetsuro Matano (National Institute of
Infectious Diseases, AIDS Research Center)

■Speaker

PL2 **Broadly neutralizing antibodies and HIV vaccine development**

Tongqing Zhou

Vaccine Research Center, NIAID, NIH, USA

会長講演

■日時：11月28日（木）9：50～10：10

■会場：第1会場（熊本城ホール2F シビックホール）

会長講演

HIV 研究の未来

座長 満屋裕明（国立国際医療研究センター研究所）

■演者

HIV 研究の未来

松下修三

熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

特別シンポジウム／Special Symposium

■日時：11月28日（木）14:00～16:30

■会場：第1会場（熊本城ホール2F シビックホール）

特別シンポジウム
Special Symposium
（臨C・社S）
（同時通訳あり）

New Age of Prevention with PrEP
「さあ PrEP の時代だ」 /
Accelerate PrEP
implementation in Japan

座長

松下修三（熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター）

岡 慎一（国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター）

■演者

SP1-1 New Age of Prevention with PrEP

Sheena McCormack

Clinical Epidemiology, MRC Clinical Trials Unit

SP1-2 日本における PrEP の臨床研究：実現可能性と PrEP 使用者の現状について

水島大輔

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

SP1-3 MSM を対象にした PrEP in JAPAN 調査から見える課題

生島 嗣

特定非営利活動法人ふれいす東京

SP1-4 世界から学ぶ PrEP 導入へのステップ

谷口俊文

千葉大学医学部附属病院・感染症内科

パネルディスカッション

高野 操

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

パネルディスカッション

山口正純

武南病院

日本エイズ学会シンポジウム

■日時：11月29日（金）10：40～12：10

■会場：第1会場（熊本城ホール 2F シビックホール）

日本エイズ学会シン
ポジウム
（臨 C・社 S）

ケアカスケード 90・90・90、
最初の 90 を達成するための取
組みは？（エイズ予防指針に基
づく対策の推進シンポジウム）

座長

松下修三（熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研
究センター）
塩野徳史（大阪青山大学）

■演者

AS-1 日本国内 HIV 発生動向に関する解析

松岡佐織

国立感染症研究所エイズ研究センター

AS-2 最初の 90 とわが国の実情

尾又一実

国立国際医療研究センター 臨床研究センター

AS-3 分子情報による伝播クラスタ解析から見た我が国の HIV 予防対策の光と影

椎野禎一郎

国立感染症研究所感染症疫学センター

AS-4 MSM における HIV 検査受検、定期検査受検のハードルを下げるための試み

金子典代

名古屋市立大学看護学研究科

特別企画

■日時：11月29日（金）10：40～12：10

■会場：第3会場（熊本城ホール 3F 大会議室 A4）

特別企画 Special Program

Current topics in
antiviral research

座長

満屋裕明（国立国際医療研究センター研究所）
Chloe Orkin（Queen Mary University of
London）

■演者

SP2-1 HIVのdarunavir 耐性発現機構解明と前例を見ない程強力な活性を発揮する GRL-142 開発

青木 学

National Cancer Institute, National Institutes of Health

SP2-2 Long Time Scale Molecular Dynamics Reveal Mechanism of HIV's High Resistance to Darunavir

Debananda Das

National Cancer Institute, National Institutes of Health

SP2-3 TAF ベースレジメンから DTG/3TC 配合錠への切り替えが TAF ベースレジメン継続群に対して非劣性を示した TANGO Study24 週時の報告

安達英輔

東京大学医科学研究所附属病院

SP2-4 HIV-1 感染症治療の維持療法として長期作用型カボテグラビルとリルピビリンの毎月投与が経口薬治療に対する非劣性を示した FLAIR、ATLAS 両試験 48 週時統合解析結果

岡 慎一

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

SP2-5 Phase 3 DISCOVER Study: Emtricitabine/Tenofovir Alafenamide (F/TAF) or Emtricitabine/Tenofovir Disoproxil Fumarate (F/TDF) for Pre-Exposure Prophylaxis (PrEP)

Pep Coll

AIDS Research Institute-IrsiCaixa, Barcelona, Spain

SP2-6 HIV-1 感染未治療者に対する DOLUTEGRAVIR (DTG)+LAMIVUDINE (3TC) の長期持続的有効性：GEMINI 試験 96 週結果

Pedro Cahn

Fundacion Huesped, Argentina

市民公開講座

■日時：11月29日（金）15：40～17：10

■会場：第1会場（熊本城ホール 2F シビックホール）

市民公開講座

性感染症と社会の未来

座長

満屋裕明（国立国際医療研究センター研究所）
吉村和久（東京都健康安全研究センター）

■演者

1. エイズは、今どうなっている？～エイズを克服する社会とは？

松下修三

熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

2. 性感染症は今どうなっている？～多様化する性行為と新たな性感染症

渡辺恒二

国立国際医療研究センター エイズ治療研究開発センター

3. “性”の文化史―衆道を中心に

渡辺憲司

立教大学文学部名誉教授、立教新座中学・高校元校長

シンポジウム「治療の手引き」

■日時：11月29日（金）13：30～15：20

■会場：第1会場（熊本城ホール2F シビックホール）

**治療の手引き
認定講習会
（医師・看護師）**

HIV 感染症：治療の手引き

座長

満屋裕明（国立国際医療研究センター研究所）
岡 慎一（国立国際医療研究センターエイズ治療・
研究開発センター）
白阪琢磨（国立病院機構 大阪医療センター）

■演者

HIV 感染症：治療の手引き

1. はじめに

満屋裕明

国立国際医療研究センター研究所

2. What's New

白阪琢磨

国立病院機構大阪医療センター

3. 主要中核拠点病院での抗レトロウイルス治療の実際

増田純一

国立国際医療研究センター病院

渡邊 大

国立病院機構大阪医療センター

横幕能行

国立病院機構名古屋医療センター

四本美保子

東京医科大学病院

4. HIV 感染症の予後と死因 Update

西島 健

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

渡邊 大

国立病院機構大阪医療センター

5. HIV 感染症治療とジェネリック薬・フォーミュラリー

栗原 健

一般社団法人日本病院薬剤師会

6. 開発パイプラインにある抗レトロウイルス治療薬

中田浩智

熊本大学病院

7. おわりに

岡 慎一

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

シンポジウム

■Date/Time : Wed. Nov. 27/10 : 40 ~ 12 : 10

■Room : Hall 1 (2F Civic Hall)

Symposium 1 (基 B・臨 C)

Cutting edge research
on HIV latency and
persistence
(HIV 持続潜伏感染に関する最
先端研究)

Chairs Hirofumi Akari (Kyoto University)
Yorifumi Satou (Kumamoto University)

■Speakers

SY1-1 Multi-omics investigation of
HIV-1-infected cells in
humanized mouse model

Kei Sato

Institute of Medical Science, The University of
Tokyo, JST CREST

SY1-2 Treatment of HIV-1-reservoirs
using latency-reversing agents
(LRAs) toward HIV cure

Kenji Maeda

National Center for Global Health and
Medicine Research Institute, Japan

SY1-3 Underlying mechanisms of
experimental HIV-1 cure
observed in the newly developed
in vitro model system

Yorifumi Satou

Kumamoto University

SY1-4 Shaping the HIV-1 proviral and
viral landscape

Ya-Chi Ho

Department of Microbial Pathogenesis, Yale
School of Medicine

共催：熊本大学レトロウイルス学共同研究センター

■日時：11月27日(水) 10:40 ~ 12:10

■会場：第2会場(熊本城ホール 3F 大会議室 A1)

シンポジウム 2 (臨 C・検 CL・社 S)

新しい HIV 確認検査法を我々
はどのように使用していくべき
か

座長

貞升健志(東京都健康安全研究センター 微生物部)
今村顕史(がん・感染症センター都立駒込病院感
染症科)

■演者

イントロダクション

今村顕史

がん・感染症センター都立駒込病院感染症科

SY2-1 新しい HIV 確認検査試薬「Geenius
HIV-1/2」の特徴について

川畑拓也

(地独) 大阪健康安全基盤研究所 微生物部ウイルス課

SY2-2 保健所検査検体での新しい HIV 確認検
査試薬の使用経験

長島真美

東京都健康安全研究センター 微生物部

SY2-3 即日検査相談会の経験から、新しい確
認検査試薬への期待

本間隆之

山梨県立大学看護学部

SY2-4 NGO の視点からみた新しい確認検査
法への期待 ~コミュニティセンター
akta での HIVcheck.jp の経験から

岩橋恒太

特定非営利活動法人 akta

SY2-5 エイズ学会推奨検査法改訂に向けたボ
イント

貞升健志

東京都健康安全研究センター 微生物部

シンポジウム

■日時：11月27日（水）13：30～15：00

■会場：第1会場（熊本城ホール2F シビックホール）

シンポジウム 3 (臨 C・社 S)	長期治療時代のメンタルヘルスとアドヒアランス	座長	松下修三（熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター） 栗原 健（一般社団法人 日本病院薬剤師会）
------------------------------	-------------------------------	-----------	---

■演者

SY3-1 長期治療で経験する問題点～服薬支援
大石裕樹
国立病院機構九州医療センター薬剤部

SY3-2 長期治療時代におけるセルフマネジメントと心理支援
辻麻理子
国立病院機構九州医療センター

SY3-3 HIV 感染による中核神経合併症
田沼順子
国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

SY3-4 HIV 感染者のメンタルヘルスとその対応 - 当センターの課題と体制について -

小松賢亮
国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

SY3-5 長期治療時代の精神科的問題
今井公文

筑波大学附属病院 日立社会連携教育研究センター

■日時：11月27日（水）13：30～15：00

■会場：第2会場（熊本城ホール3F 大会議室 A1）

シンポジウム 4 (社 S・臨 C)	U=U 時代の「性の健康」、日本におけるコンビネーション HIV 予防を考える	座長	谷口俊文（千葉大学医学部附属病院 感染症内科） 岩橋恒太（特定非営利活動法人 akta.）
------------------------------	--	-----------	--

■演者

SY4-1 改めて U=U とは何か
大北全俊
東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学専攻公共健康医学講座医療倫理学分野

SY4-2 MSM に対する検査提供と予防介入の実践と変遷
金子典代
名古屋市立大学看護学研究科

SY4-3 分子系統樹解析の予防対策への応用へ向けて
菊地 正
国立感染症研究所エイズ研究センター

SY4-4 SH 外来等における包括的な「性の健康」への諸取り組み

上村 悠
国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

SY4-5 地方における性病クリニック検査の事業化と今後の展望

和田秀穂
川崎医科大学 血液内科学

シンポジウム

■日時：11月27日（水）15：20～17：20

■会場：第1会場（熊本城ホール2F シビックホール）

シンポジウム 5 （臨 C） 認定講習会（医師）

エイズ発症の困難症例にどう立ち向かう？

座長

山本政弘（国立病院機構九州医療センター AIDS/HIV 総合治療センター）
立川夏夫（横浜市立市民病院 感染症内科）

■演者

SY5-1 HIV 関連悪性リンパ腫の診断と治療における注意点
遠藤知之
北海道大学病院血液内科、北海道大学病院 HIV 診療支援センター

SY5-2 播種性 NTM 症の治療の実際
照屋勝治
国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

SY5-3 進行性多巣性白室脳症
福嶋一彰
がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科

SY5-4 トキソプラズマ症の現況と課題
健山正男
琉球大学大学院 感染症・呼吸器・消化器内科学

■Date/Time：Thu. Nov. 28/11：00～12：30

■Room：Hall 1（2F Civic Hall）

Symposium 6 （基 B）

bnAb, cellular immunity
and their collaboration
中和抗体、細胞性免疫と両者の協同

Chairs

Takamasa Ueno（Kumamoto University）
Takeo Kuwata（Kumamoto University）

感染初期の中和抗体投与によって HIV/SIV の増殖が長期に渡り抑制されたという研究結果が報告され、その機序や細胞性免疫の関与が注目されています。本シンポジウムでは、中和抗体と細胞性免疫、および両者の協同に関する最先端の研究を発表していただきます。

■Speakers

SY6-1 Polymorphism of Immunoglobulin germline gene restricts induction of bnAbs against SIV
Takeo Kuwata
Kumamoto University

SY6-2 Neutralizing antibodies against SIV_{mac239}: T-cell synergism in protection and induction
Hiroyuki Yamamoto
AIDS Research Center, National Institute of Infectious Diseases, Japan

SY6-3 bnAb immunotherapy during the acute infection can induce long-lasting cellular immunity to SHIV
Yoshiaki Nishimura
NIAID, NIH, USA

SY6-4 Mechanisms of Adaptive NK Cell Responses in HIV/SIV Infections and Vaccinations
R. Keith Reeves
Ragon Institute of MGH, MIT, and Harvard, USA

共催：熊本大学レトロウイルス学共同研究センター

シンポジウム

■日時：11月28日（木）11：00～12：30

■会場：第3会場（熊本城ホール3F大会議室A4）

シンポジウム 7 （社S）

HIVとメンタルヘルス：予防とケアへの様々なアプローチと今後の展開に向けて～分野を超えて～

座長

矢永由里子（慶應義塾大学医学部感染制御センター）

■演者

SY7-1 イントロダクション：メンタルヘルスの支援の基調をなすものについて

矢永由里子

慶應義塾大学医学部感染制御センター

SY7-5 予防 その2-1：地域での支援のあり方

井村弘子

沖縄国際大学総合文化学部

SY7-2 ケア その1：当センターにおけるHIV カウンセリング・メンタルヘルス支援の現状と課題

小松賢亮

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

SY7-6 予防 その2-2：一当事者から見たメンタルヘルスとピアサポート

山本大輔

OHPAM（オーパム）

SY7-3 ケア その2：地方都市におけるカウンセリングの動向と推移：チーム医療の中での患者のメンタルヘルスケアを考える

江崎百美子

熊本大学病院感染免疫診療部・くまもと心理カウンセリングセンター

SY7-7 指定討論

三木浩司

平成紫川会小倉記念病院緩和ケア精神科

SY7-4 予防 その1：医師による患者への早期支援：カウンセラーとの連携と実際

今村顕史

がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科

シンポジウム

■日時：11月29日（金）9：00～10：30

■会場：第1会場（熊本城ホール2F シビックホール）

シンポジウム 8 （社S・臨C）

日本で same day ART initiation ができる体制づくりを目指すためには？

座長

井上洋士（国立がん研究センター がん対策情報センター）
塚田訓久（国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター）

■演者

SY8-1 HIV 対策において身体障害者手帳が果たすべき役割（制度取得までの歴史を踏まえて）

岩野友里

社会福祉法人はばたき福祉事業団

身体障害者手帳が HIV に導入されるようになった医療的・福祉的・社会的経緯と意義（ビデオ出演）

大平勝美

社会福祉法人はばたき福祉事業団

SY8-3 治療開始を決めた HIV 陽性者の身体障害者認定について～大阪医療センターの経験から～

岡本 学

国立病院機構 大阪医療センター HIV 地域医療支援室

SY8-4 NPO の立場から、HIV 検査や予防啓発、HIV 陽性者支援等で感じる課題

生島 嗣

特定非営利活動法人ふれいす東京

SY8-2 世界の HIV 治療ガイドラインでの same day ART initiation と、日本の身体障害者手帳制度で変えるべき点

塚田訓久

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

シンポジウム

■日時：11月29日（金）9：00～10：30

■会場：第2会場（熊本城ホール3F大会議室A1）

シンポジウム 9 （臨C・社S）

長期療養における薬害被害者の課題

座長

湯永博之（国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター）
竹谷英之（東京大学医科学研究所附属病院関節外科）

■演者

SY9-1 当事者からみた薬害 HIV 感染被害患者の長期療養の課題と医療者への期待

武田飛呂城

社会福祉法人はばたき福祉事業団

SY9-4 運動機能と日常生活、社会参加

藤谷順子

国立国際医療研究センター リハビリテーション科

SY9-2 長期療養の課題と患者支援団体による取組み

柿沼章子

社会福祉法人はばたき福祉事業団

SY9-5 薬害被害者における虚血性心疾患のスクリーニング

廣井透雄

国立国際医療研究センター病院 循環器内科

SY9-3 薬害 HIV 感染者の病病連携 -ACC 救済医療室の経験 -

田沼順子

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

SY9-6 血友病 HIV 感染者における非エイズ悪性腫瘍（NADM）

岡 慎一

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

■日時：11月29日（金）10：40～12：10

■会場：第2会場（熊本城ホール3F大会議室A1）

シンポジウム 10 （臨C）

長期治療と生活習慣病：生活習慣への医療者のかかわり

座長

東 政美（国立病院機構 大阪医療センター）
留美（国立病院機構 九州医療センター 免疫感染症内科）

■演者

SY10-1 HIV 感染者の生活習慣病へのアプローチ

関谷綾子

東京医科大学臨床検査医学分野、がん感染症センター都立駒込病院糖尿病内科

SY10-4 生活習慣病とポリファーマシー

中内崇夫

国立病院機構 大阪医療センター 薬剤部

SY10-2 長期療養と生活習慣への関わり～看護師の立場から～

東 政美

国立病院機構 大阪医療センター

SY10-5 管理栄養士としての関わり

安楽菜月

国立病院機構 九州医療センター 栄養管理室

SY10-3 運動習慣の形成のための検診会活動

藤谷順子

国立国際医療研究センター リハビリテーション科

JSPS Core-to-Core Symposium / 日本学術振興会研究拠点形成事業シンポジウム

■Date/Time : Fri. Nov. 29/9 : 00 ~ 10 : 30

■Room : Hall 3 (3F Conference Room A4)

JSPS Core-to-Core Symposium 事業シンポジウム

「Insight into HIV-1
variants circulating in
Africa through Asia」 /
「アジア・アフリカで流行する
HIV-1 変異群の実態」

Chairs

Eligius Lyamuya (Muhimbili University of
Health and Allied Sciences, Tanzania)
Takamasa Ueno (Kumamoto University)

熊本大学では 2019 年度より日本学術振興会研究拠点形成事業に採択され、「HIV 感染症の根絶をめざしたアジア・アフリカ研究教育拠点」として、ベトナムおよびタンザニアでの HIV 感染者コホート研究と若手研究者の育成を推進しています。本シンポジウムでは拠点研究活動の一部を紹介します。

■Speakers

JSPS-1 Into the last mile: The struggle to
end HIV/AIDS in Tanzania and
Opportunities for Biomedical to
Address the Escalating HIV Drug
Resistance

Bruno F. Sunguya

Muhimbili University of Health and Allied
Sciences, Tanzania

JSPS-2 Implications of circulating HIV
drug resistance mutations in
Tanzania's ART program; analysis
of virally suppressed, treatment
failure and ART naïve subjects

Godfrey Barabona

Joint Research Center for Human Retrovirus
Infection, Kumamoto University

JSPS-3 Relationship between Japanese
and global epidemics:
Phylogenetic analysis of non-
subtype B HIV-1 from the
Japanese Drug Resistance HIV-1
Surveillance

Tadashi Kikuchi

National Institute of Infectious Diseases, AIDS
Research Center, Tokyo

JSPS-4 The existence of replication-
competent minor variants with
different coreceptor usage in
CRF01_AE HIV-1-infected
individuals in northern Vietnam

Yosuke Maeda

Department of Microbiology, Faculty of Life
Sciences Kumamoto University

共催：熊本大学（日本学術振興会）

ポジティブトークセッション

■日時：11 月 27 日（水）15 : 20 ~ 17 : 00

■会場：第 2 会場（熊本城ホール 3F 大会議室 A1）

ポジティブ トークセッション

Positive Talk 2019

座長

栗原 健（一般社団法人日本病院薬剤師会）
佐藤郁夫（日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャン
ププラス／ぶれいす東京）

■挨拶：松下修三

（熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター）

■演者

HIV 陽性者 4 名

メモリアルサービス

■日時：11月27日（水）17:20～18:20

■会場：第2会場（熊本城ホール3F大会議室A1）

メモリアル サービス

第9回世界エイズデー メモリアルサービス
いのち
～生命をつなぐ～

■企画者：有志

■内 容：メモリアル・キルトのスライドショーや遺族の方からのメッセージ、陽性者からのメッセージ、HIV/AIDS 医療や支援にかかわっている人たちからのメッセージ。

追悼や祈り、歌をささげる。

candle vigils（ともしび）、瞑想など。

参加者のこころの声に各自が静かに耳を傾け、過去や現在を覚え、これからの私たちの勇気を分かち合う。

日本エイズ学会認定講習会

認定講習会一覧

日 時	時 間	会 場	セッション名	テーマ
11月27日 （水）	15:20-17:20	第1会場 （2Fシビックホール）	日本エイズ学会認定講習 会（医師）	シンポジウム 5 エイズ発症の困難症例にどう 立ち向かう？
11月28日 （木）	18:10-20:10	第4会場 （3F中会議室B1-B3）	日本エイズ学会認定講習 会（看護師）	HIV感染症に関わる看護師が 知っておきたいアディクション 看護
11月29日 （金）	13:30-15:20	第1会場 （2Fシビックホール）	日本エイズ学会認定講習 会（医師・看護師）	シンポジウム HIV感染症：治療の手引き

HIV 感染症指導看護師向けアドバンスト研修

日 時	時 間	会 場	セッション名	テーマ
11月28日 （木）	16:40-18:10	第4会場 （3F中会議室B1-B3）	HIV感染症指導看護師向 けアドバンスト研修	HIV感染症指導看護師の役割 と看護ケア（療養支援）の評価

HIV 感染症薬物療法認定・専門薬剤師認定講習会

■日時：11月28日（木）16：40～18：40

■会場：第3会場（熊本城ホール3F大会議室A4）

これからの抗HIV療法を考える

座長 栗原 健（一般社団法人日本病院薬剤師会）
矢倉裕輝（国立病院機構大阪医療センター 薬剤部）

■挨拶

木平健治

一般社団法人日本病院薬剤師会

TR-2

平野 淳

国立病院機構名古屋医療センター 薬剤部

■演者

TR-1

増田純一

国立国際医療研究センター病院 薬剤部

TR-3

照屋勝治

国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

共催：一般社団法人日本薬剤師会

Scientific Engagement Satellite Symposia

■日時：11月28日（木）16：40～19：10

■会場：第2会場（熊本城ホール3F大会議室A1）

Scientific
Engagement
Satellite
Symposia
(同時通訳あり)

「2019年の今、改めて多剤併用療法を考える」～その成り立ち、最近のClinical Trial、Guideline、Real World Data、陽性者の真のNeedsから紐解く～

座長 藤原民雄（塩野義製薬株式会社）
古賀一郎（ヴィーブヘルスケア株式会社）

■演者

SESS-1

Pedro Cahn

Fundación Huesped, Buenos Aires, Argentina

SESS-3

白阪琢磨

国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター

SESS-2

Chloe Orkin

Queen Mary University of London, UK

SESS-4

立川夏夫

横浜市民病医院 感染症内科

共催：ヴィーブヘルスケア㈱

共催シンポジウム

■日時：11月27日（水）9：00～10：30

■会場：第2会場（熊本城ホール 3F 大会議室 A1）

共催 シンポジウム 1

長期療養時代の医療・行政・コ
ミュニティの協働態勢の構築

座長

岳中美江（特定非営利活動法人 バルビー）
池田和子（国立国際医療研究センター/エイズ治
療・研究開発センター）

■演者

SS1-1

塩野徳史

大阪青山大学健康科学部 看護学科、MASH 大阪

SS1-4

高木雅敏

熊本大学病院 看護師

SS1-2

小川孔幸

群馬大学医学部附属病院 医師

共催：セコム医療システム㈱

SS1-3

阿部憲介

NHO 仙台医療センター 薬剤師

■日時：11月27日（水）15：20～17：20

■会場：第3会場（熊本城ホール 3F 大会議室 A4）

共催 シンポジウム 2

薬剤師ワークショップ
「HIV 感染症治療マネジメント
～適正使用につなげる処方提
案」

座長

増田純一（国立国際医療研究センター病院薬剤部）

■演者

SS2-1

戸矢崎信也

株式会社カムシティ戸山薬局

共催：ヤンセンファーマ㈱

メディカルアフェアーズ本部

SS2-2

関根祐介

東京医科大学病院薬剤部

共催シンポジウム

■日時：11月28日（木）11：00～12：30

■会場：第2会場（熊本城ホール 3F 大会議室 A1）

共催 シンポジウム 3 （同時通訳あり）

HIV 薬剤耐性における課題
～潜在的な薬剤耐性リスクと
その疫学～

座長 立川夏夫（横浜市立市民病院 感染症内科）

■演者

SS3-1

共催：ギリアド・サイエンス(株)

菊地 正

国立感染症研究所 エイズ研究センター

SS3-2

Stephen Shafran

Division of Infectious Diseases Department of
Medicine, University of Alberta, Canada

■日時：11月28日（木）17：00～19：00

■会場：第1会場（熊本城ホール 2F シビックホール）

共催 シンポジウム 4

HIV 感染症と Aging
～最新！ HIV 感染者の合併症
の現状と対策～

座長

松下修三（熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研
究センター）

岡 慎一（国立国際医療研究センター エイズ治
療・研究開発センター）

■演者

SS4-1

長期療養時代の HIV と糖尿病

関谷綾子

東京医科大学病院 臨床検査医学科

SS4-3

脂質異常症の病態と治療最前線 ～
HIV 患者における重要性も含めて～

塚本和久

帝京大学医学部附属病院 内分泌代謝・糖尿病科

SS4-2

HIV 感染者の長期合併症と ART の選
択

潟永博之

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発セン
ター

共催：MSD (株)

共催シンポジウム

■日時：11月28日（木）18：40～20：10

■会場：第3会場（熊本城ホール3F大会議室A4）

共催 シンポジウム5

血友病患者のQOL向上を目指した
チーム医療

座長 白幡 聰（産業医科大学）

■演者

SS5-1

内場光浩

熊本大学病院 輸血・細胞治療部

SS5-3

藤井輝久

広島大学病院 輸血部

SS5-2

田上直美

熊本大学病院 薬剤部

共催：CSL ベーリング㈱

ランチョンセミナー

■日時：11月27日（水）12：20～13：20

■会場：第1会場（熊本城ホール2F シビックホール）

ランチョン セミナー1 （同時通訳あり）

ドルテグラビルが切り拓く
2剤併用治療の可能性

座長

Pedro Cahn（Fundación Huesped, Buenos Aires, Argentina）
古賀一郎（ヴィーブヘルスケア株式会社）

■演者

LS1-1

Chloe Orkin

Queen Mary University of London, UK

共催：ヴィーブヘルスケア(株)／塩野義製薬(株)

■日時：11月27日（水）12：20～13：20

■会場：第2会場（熊本城ホール3F 大会議室A1）

ランチョン セミナー2

長期療養時代のARTに求める
プロファイル

座長

菊池 嘉（国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター）

■演者

LS2-1

上平朝子

国立病院機構 大阪医療センター
感染症内科・HIV/AIDS 先端医療開発センター

共催：ギリアド・サイエンシズ(株)

ランチョンセミナー

■日時：11月27日（水）12：20～13：20

■会場：第3会場（熊本城ホール3F大会議室A4）

ランチョン セミナー3

抗ウイルス療法 cART の未来
～ NRTI はどう使われる？～

座長

松下修三（熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター）

■演者

LS3-1

共催：共和薬品工業㈱

満屋裕明

国立国際医療研究センター研究所

■日時：11月27日（水）12：20～13：20

■会場：第5会場（熊本城ホール3F中会議室C1-C2）

ランチョン セミナー4

薬害血友病患者の高齢化に伴う
諸問題

座長

山本政弘（国立病院機構九州医療センター
AIDS/HIV 総合治療センター）

■演者

LS4-1

共催：サノフィ㈱

木内 英

東京医科大学病院 臨床検査医学科

ランチョンセミナー

■日時：11月28日（木）12：40～13：40

■会場：第1会場（熊本城ホール2F シビックホール）

ランチョン セミナー5

HIV 感染領域におけるダルナ
ビル（DRV）の臨床的意義

座長

山本政弘（国立病院機構九州医療センター
AIDS/HIV 総合治療センター）

■演者

LS5-1

共催：ヤンセンファーマ㈱

照屋勝治

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発セン
ター

■日時：11月28日（木）12：40～13：40

■会場：第4会場（熊本城ホール3F 中会議室 B1-B3）

ランチョン セミナー6

臨床試験が示す今後の HIV 診
療の新たな展開への期待と課題
～2 剤併用療法 (DTG+3TC)
を HIV の実臨床でどう活かす
べきか～

座長

古賀一郎（ヴィーブヘルスケア株式会社）

■演者

LS6-1

共催：ヴィーブヘルスケア㈱／塩野義製薬㈱

白阪琢磨

国立病院機構 大阪医療センター
HIV/AIDS 先端医療開発センター

ランチョンセミナー

■日時：11月28日（木）12：40～13：40

■会場：第5会場（熊本城ホール3F 中会議室C1-C2）

ランチョン セミナー7

新時代のHIV感染血友病医療
—新たな止血治療戦略—

座長

福武勝幸（東京医科大学 医学部医学科 臨床検査医学分野）

■演者

共催：中外製薬㈱

LS7-1

西田恭治

国立病院機構大阪医療センター 感染症内科

■日時：11月29日（金）12：20～13：20

■会場：第1会場（熊本城ホール2F シビックホール）

ランチョン セミナー8 （同時通訳あり）

Patient-Reported
Outcomes to Enhance
HIV Research and Care

座長

満屋裕明（国立国際医療研究センター）

■演者

共催：ギリアド・サイエンシズ㈱

LS8-1

David A. Wohl

Division of Infectious Diseases at the
University of North Carolina

ランチョンセミナー

■日時：11月29日（金）12：20～13：20

■会場：第2会場（熊本城ホール3F大会議室A1）

ランチョン セミナー 9

HIV 感染者の長期合併症の動
向について

座長

山本政弘（国立病院機構九州医療センター
AIDS/HIV 総合治療センター）

■演者

LS9-1

木内 英

東京医科大学病院 臨床検査医学科

共催：MSD（株）

■日時：11月29日（金）12：20～13：20

■会場：第4会場（熊本城ホール3F中会議室B1-B3）

ランチョン セミナー 10

HIV 感染症を正しく診断する
ために

座長

今村顕史（がん・感染症センター 都立駒込病院
感染症科）

■演者

LS10-1 HIV 感染者の発見方いろいろ

天野景裕

東京医科大学病院 臨床検査医学科

LS10-2 HIV 検査のいろいろ：基本のおさらい

上道文昭

東京医科大学病院 中央検査部

共催：ロシュ・ダイアグノスティックス（株）